

エコアクション21 環境経営レポート

『令和 4年 7月～令和 5年 6月』

第15版



株式会社 ふくエンジニアG

〒904-2142

沖縄県沖縄市字登川3177-2

TEL (098) 939-0965 FAX (098) 939-0966



レポート作成日 令和 5年 7月

目次

ページ

- 1 会社概要
- 2 環境経営方針
- 3 実施体制表
- 4 役割分担表
- 5 エコアクションへの取組についての確認事項
- 6~11 環境経営目標・環境経営計画
- 12~14 環境関連法規等の遵守状況と評価
環境関連法規への違反・訴訟等の有無
- 15 次年度の環境経営目標・取組目標の実施状況結果
- 16 環境経営計画結果と次年度の改善策
- まとめ（担当者）
- 17 代表者による全体評価
代表者による見直し・指示

会社概要

事業所名	株式会社 ふくエンジニアG
代表者名	代表取締役 竹島 奈月
所在地	〒904-2143 沖縄県沖縄市字登川3177-2 (本社) 沖縄県沖縄市登川平田原3011 (無人ヤード)
連絡先	T E L : (098) 939-0965 F A X : (098) 939-0966 E-m a i fuku@fuku-eng-g.jp
会社創立	平成 1年 1月 19日 (平成 29年 6月 13日社名変更)
事業年度	期 首 7月 1日 期 末 6月 30日
資本金	金 2500万円
事業概要	売上高 229 百万円 (令和5年度)
従業員人数	17人 (現場 11人 事務所 6人)
許認可関連	沖縄県知事(特-29) 第314号 土木・とび・石・管工事・鋼構造物・塗装・水道施設・しゅんせつ
認証・登録範囲	給排水設備の設計及び工事業 土木・舗装工事業・厨房・空調・換気・消防施設工事業
対象範囲	全組織・全活動
環境管理責任者	玉城 香織
連絡担当者	玉城 香織

株式会社ふくエンジニアGでは、沖縄のライフラインを守り地域に根付いた信頼される会社をめざし、環境保全に取り組んでいます。常にお客様の立場に立った提案・施工を心掛けています。

環境経営方針

株式会社 ふくエンジニアGは、事業活動において生じる環境負荷（資源・エネルギー使用量・廃棄物排出量）の削減に努め、以下の取組事項を定め、環境保全へ全職員一丸となり取組みます。又、取組事項を定期的に見直し、取り組みやすように環境経営の継続的改善を行います。

- ★ 廃棄物の削減・節水・省エネルギーを重点取組事項とし、地球温暖化防止策に努めます。
- ★ 環境関連法、協定、条例などを遵守し環境保全に努めます。
- ★ CO2（二酸化炭素）排出量の削減に努めます。
- ★ 定期的な見直しを行い、適宜改善を行います。
- ★ 会社倉庫を効率よく利用するため、整理整頓をし在庫管理を徹底する
- ★ 廃棄物の分別をし、リサイクル促進を行います。
- ★ 節水に努めます

平成 22年 10月 20日 制定
令和 5年 7月 30日 改定



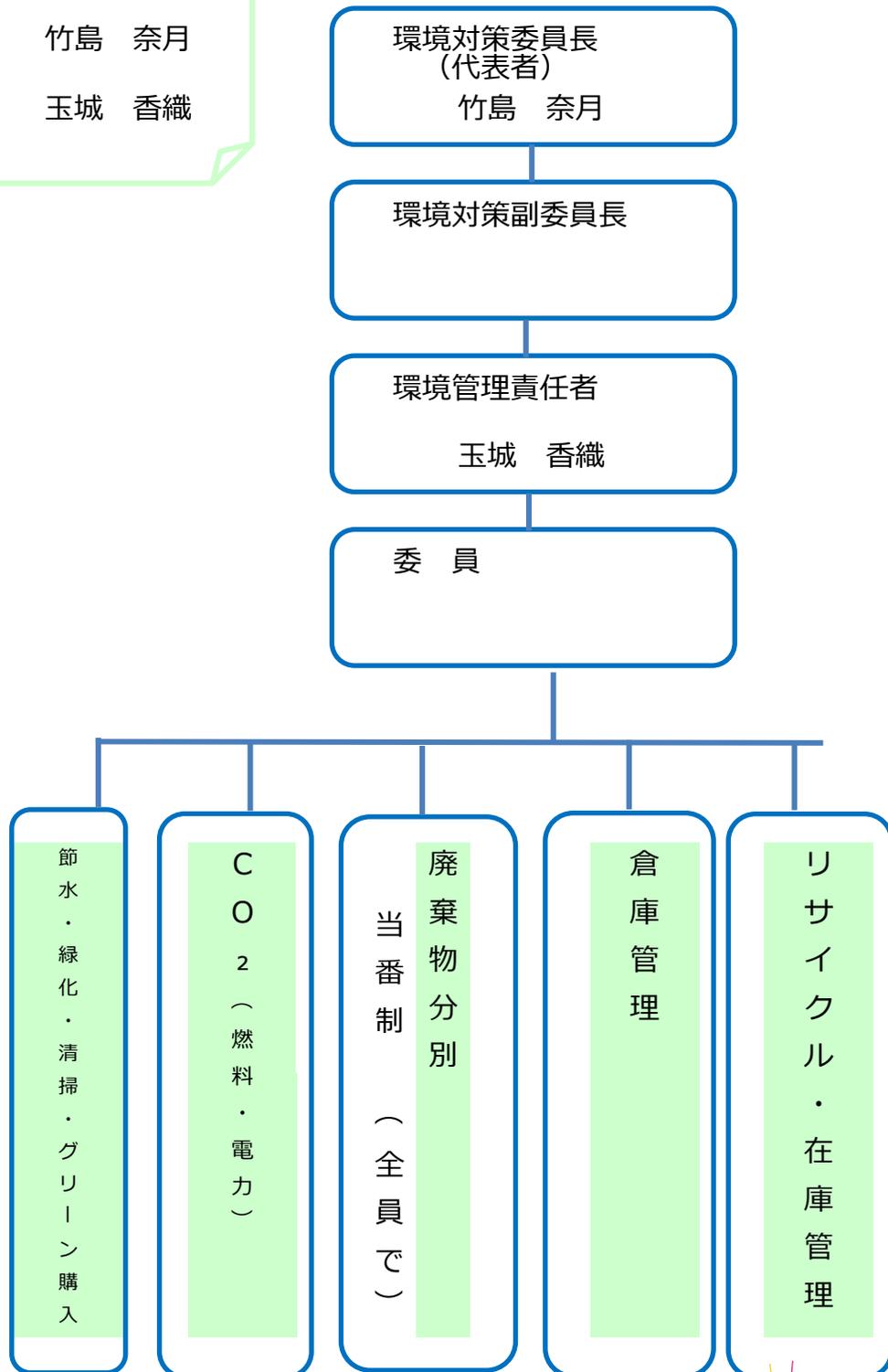
代表取締役 竹島 奈月

実施体制表

環境管理委員会

委員長： 竹島 奈月
 副委員：
管理責任者： 玉城 香織
 委員：

組織表



※会社概要の従業員人数と実施体制表人数が異なるのは、常勤の方や退職された方など記載月で変動があるためです。



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
環境対策委員長 (代表者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・ 経営における課題とチャンスを明確にする。 ・ 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・ 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・ 環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する ・ EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 ・ 毎年、環境目標、環境活動計画を作成する。 ・ 3か月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認・評価する。 ・ 上記の結果を代表者に報告する。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3か月に1回開催し、環境目標及び環境活動計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・ 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ・ 環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・ 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・ 自部門に関連する法規制等を順守する ・ 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・ 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

エコアクションへの取組についての確認事項

<p>廃棄物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で発生する廃棄物の分別 (コンテナは燃える・燃えない 分別) ・パイプの長さは30cm～40cmに切断して捨てる ・大きいコンテナ→ 燃えないゴミ (パイプ・発砲スチロール・ビニル製品) ・小さいコンテナ→ 燃えるゴミ (木くず・紙くず ※リサイクルできるものはリサイクルへ) ・コンテナがいっぱいになったら排出業者へ運搬依頼 	<p>週交替制全員で</p>
<p>倉庫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫が整理整頓されているか確認 (確認後、整理が行き届いていなければ指示を出す) ・使用後は元あった場所に戻す (通路などに工具類を置かない) 	
<p>CO2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブを呼びかける (急停車・急発進・アイドリング 見かけた場合は注意する) ・タイヤの空気圧・適量の積荷化のチェック ・トラックなどに不要な道具や工具を載せない 	
<p>リサイクル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルできるものの分別 (段ボール・アルミ缶・スチール缶・鉄くずなど) ・ペットボトルキャップを集めてエコキャップ協会に持っていく (ワクチンに変える) 	
<p>在庫管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資材発注のミスがないように担当と確認する (発注する前に在庫で使用できるものがあるか確認する) ・新しく在庫になった器具類を事務所に知らせる ・現場に行く際は、在庫を使用する 	
<p>グリーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ商品を購入する ・節電・節水を心掛ける 	
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マニフェストの管理・契約 ・取組の現状チェック 	

※自分の担当を確認し 積極的に取り組んでいきましょう!!!

環境経営目標・環境経営計画

令和1年（平成31年7月～令和元年6月）を基準とし-2%の削減として年間の目標を定めて取組ます。

二酸化炭素排出量 沖縄電力2020年度二酸化炭素実排出系数 0.737kg – CO₂/kWh

項目	年度	平成31年7月～令和1年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	増減
		令和1年 基準年 実績	令和3年 目標	令和3年 実績	令和4年 目標	令和4年 実績	令和5年 目標	令和5年 実績	
			令和3年 実績	令和3年 目標	令和4年 実績	令和4年 目標	令和5年 実績	令和5年 目標	
電気使用量 (kWh)		11,423	11,194	11,921	11,194	13,191	11,194	11,826	6.3%増
二酸化炭素排出量 (kg)		8,990	8,810	9,167	8,810	9,722	8,810	8,716	3.3%減

電気使用量/11,826kWh 二酸化炭素排出量/8,479kg 目標-2% 実績6.3%増

取組計画

- ①休憩時の電気消灯やPC待機電力の節電を積極的に行う
- ②エアコンの温度設定 夏→27℃以上 冬→20℃以下 基本設定とする。
- ③エアコンのフィルター清掃を月1回行う。
- ④コロナウイルス感染対策も兼ねて換気を行い、扇風機を併用し快適な温度を保つようにする。

評価

- ①電力使用量は6.3%増加しているが排出量は3.3%減で目標の2%に達成できた。
- ②コロナウイルス感染予防の為、マスクの着用で働いており夏場は27℃の設定は難しかった。
- ③電気料金の値上げの影響があった。

改善

- ①自動運転に切り替えて扇風機と併用して快適な温度を保つようにしたい。
- ②引き続き休憩時の待機電力を継続する。又、使用していないコンセントは抜くようにする。

ガソリン使用量 排出係数 2.32kg-CO2/L 軽油 排出係数 2.58kg-CO2/L

項目	年度	平成31年7月～令和1年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	増減
		令和1年 基準年	令和3年	令和3年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
ガソリン使用量 (ℓ) 現場	25,421	24,193	11,059	24,193	16,289	24,193	9,509	146%減	
ガソリン使用量 (ℓ) 事務所	7,165	7,022	3,191	7,022	5,455	7,022	4,605	24%減	
軽油使用量 (ℓ)	26,058	25,537	19,129	25,537	16,804	25,537	11,033	145%減	

ガソリン・軽油使用量 ガソリン現場 9,509 ℓ 事務所 4,605 ℓ 軽油 11,002 ℓ

ガソリン 二酸化炭素排出量 33590.74kg-CO2 軽油 二酸化炭素排出量 28685.23.kg-CO2

目標-2% 実績 現場146%減 事務所19%減

軽油使用量 目標-2% 実績 254%減

取組計画

- ①エコドライブの教育の取組み
- ②現場へ行く前や帰社後に不要な荷物を積まないように荷台のチェックを行う
- ③急発進・急停車をしないよう心掛ける
- ④同じ現場に行くときなどはできる限り相乗りをするように心掛ける
- ⑤車輛を定期的に点検を実施する。

評価

- ①基準値が高いため目標は達成している。
- ②書類提出で遠距離の外出が増えたため。
- ③ガソリンが高騰したため。

改善

- ①エコドライブの実施
- ②現場に出る時は最短ルートで行けるよう、事前に確認する。

廃棄物の削減、資源の再利用、リサイクル

一般廃棄物排出量

項目	年度	平成31年7月～令和1年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	増減
		令和1年 基準年	令和3年	令和3年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
一般廃棄物 (kg)		1,254	1,229	2,790	1,229	2,218	1,229	1,388	1.6%増

一般廃棄物 (kg) 総排出量 1,388kg 目標-2% 実績1.6%増

取組計画

- ①廃棄物の分別の仕方をイラストで分かるように従業員に周知する。
- ②現場からの廃棄物のコンテナを分ける
- ③コピー用紙は社内用書類を印刷する際、裏用紙を使用する。
- ④段ボール・雑誌・新聞紙などの古紙は再資源化する。
- ⑤ペットボトル・アルミ缶は売却する。

評価

- ①令和4年実績よりかなり減少している。
- ②段ボール等の古紙は再資源化されたという証明書を頂いている。

改善

- ①熱中症対策として飲料水は必要ですが、ペットボトルの排出を減らす為なるべく水筒や事務所にてキーパーを利用し氷・麦茶を準備している。
- ②従業員みんなが分別について、理解できるよう試行錯誤して勉強会やポスター等を作成して意識付けて行きたいと思います。
- ③コンテナの分別がまだまだ改善されていないため、今後どのようにするか相談し取り組んで行きたいと思います。

リサイクル量

項目	年度	令和2年7月～令和3年6月	令和3年7月～令和4年6月	令和4年7月～令和5年6月	
		令和3年度 (kg)	令和4年度 (kg)	令和5年度 (kg)	
鉄くず		3,362	864	288	
段ボール・古紙		920	1,170	1,100	
ペットボトル		50	10	0	
スチール		32	126	0	
アルミ		32	48	0	

リサイクル (kg) 総排出量 2,170kg

取組計画

- ①分別を徹底する
- ②再資源化のため有価物として売却する

評価

- ①ペットボトル・アルミ・スチールは資源ごみに出している為、売却もしていない。

改善

- ①ペットボトルのラベルを剥がすように周知する
- ②スチール缶とアルミ缶の分別

産業廃棄物（建設）

項目	年度	平成31年7月～令和1年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	増減
		令和1年 基準年	令和3年	令和3年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
建設混合廃棄物 k g		198,920	194,941	23,500	194,941	14,587	194,941	2,550	1923%減

産業廃棄物（kg）総排出量 2,550kg 目標-2% 実績-1923%減

取組計画

- ①分別を徹底する
- ②再資源化のため有価物として売却する
- ③廃棄物の分別をしリサイクル促進を行う

評価

- ①基準値が高い。去年より大きく量は減っている

改善

- ①運搬又は処分する場合は環境で定められた業者に委託する。産業廃棄物管理表（マニフェスト）を提出
- ②産業廃棄物管理票の交付等状況報告書の提出（5年間保管）

水使用量

項目	年度	平成31年7月～令和1年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和2年7月～ 令和3年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和3年7月～ 令和4年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	令和4年7月～ 令和5年6月	増減
		令和1年 基準年	令和3年	令和3年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
上水 (m ³)		281	275	264	275	212	275	135	1.4%減

取組計画

- ①水使用量の削減・節水に努める
- ②現場で使用する水は雨水を使用する
- ③事務所での食器類の洗い物を溜めてまとめて洗うようにする

評価

- ①全体的に1.4%減でした。
- ②植栽にかける水や現場で使用する水も雨水を積極的に使用しました。

改善

- ①引き続き、水使用の削減・節水に努める
- ②水漏れなどの点検をする

環境関連法規等の遵守状況と評価

区分	法律・条令名称	条項	規制内容	責任者評価
環境一般	クリーン購入法	第6条	・環境物品への需要の転換	○
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・現場での資材はグリーン購入法を推奨している資材を取り入れている。 			
○	<ul style="list-style-type: none"> ・エコファイルを使用するようにしている 			
廃棄物	廃棄物処理法	第3条	・廃棄物の適正処理と減量	△
		第12条	・運搬又は処分する場合は環境で定められた業者などに委託	○
			・産業廃棄物管理票の交付(5年間保管)	○
			・産業廃棄物管理票交付等の状況報告書の提出(毎年6月末)	○
	建設リサイクル法	第1条	・廃棄物を種類別に応じた施設へ適正な排出	○
			・再生路盤材の使用	○
	フロン排出抑制法	第16条	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用エアコンは3か月に1回簡易点検を行う ・製氷機は3か月に1回簡易点検を行う。 	○
	自動車リサイクル法	第8条	・使用済み自動車の適正な引渡し	○
		73条	・リサイクル料金の納付	○
資源有効利用促進法	24条	・ペットボトル・アルミ缶・新聞・雑誌等の資源化	○	
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別がきれいに分別されていないので、社員に周知意識付けが必要。 ・産廃業者と契約し委託してる。産業廃棄物管理票の交付も保管できている。 ・産業廃棄物管理交付等の状況報告書も提出している。 			
○	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みの自動車は抹消手続・解体など適正に引渡しが出来ている。 ・自動車を購入する際にリサイクル料金の納付も出来ている。 ・業務用エアコンの簡易点検・業者にエアコン清掃を定期的に行うようにする。 ・ペットボトル・アルミ缶は再資源化の為、有価物として売却している。 			

環境関連法規等の遵守状況と評価

区分	法律・条令名称	条項	規制内容	責任者評価
水質	浄化槽法	第5条	・規模(構造)変更・管理者変更の届出	○
		第7条	・指定検査機関の行う水質に関する検査 (設置後初回のみ)	○
		第10条	・保守点検(年3回又は4回) ・定期清掃(年1回)	○
		第11条	・指定検査機関の行う水質に関する検査 (年1回法定検査)	○
総合評価	・令和元年以降浄化槽の保守点検・検査がされていないとの指摘があり、今年度から保守点検・法定検査行いました。保守点検は年3回定期的に行うように業者と契約をしました。			
○				
騒音	騒音規制法		・騒音で規制されている地域での作業・ 時間帯・曜日等を遵守している	○
振動	振動規制法		・振動で規制されている地域での作業 時間帯・曜日等を遵守している	○
評価	・騒音・振動で規制されている作業・時間帯・曜日等が記されているビラを付近の住民に配り			
○	お知らせしています。今現在は苦情等はありません。			
労働	労働安全衛生法	第3条	・職場における労働者の安全と健康を確保	○
		第11条	・安全管理者の選任	○
		第12条	・衛生管理者の選任	○
		第71条2	・快適な職場環境形成	○
		第66条	・健康診断の実施	○
総合評価	・毎年1回の健康診断・特殊健康診断を定期的実施している。			
○	・統括安全責任者と現場の状況を報告・連絡・相談し安全を確保し、円滑に作業を行う。 ・コロナウイルス感染予防の為、消毒液・マスクを完備し、扇風機で空気の流れを循環し社員の安全と健康を確保出来ている。			

環境関連法規への違反・訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありませんでした。又、関係当局よりの違反等の指摘もありませんでした。

浄化槽法に関しては、今年度から年3回の保守点検を業者と契約をし、また県の法定検査を実施しました。

次年度の環境経営目標

二酸化炭素排出量 沖縄電力 令和4年度二酸化炭素調整後排出係数 0.680kg-CO₂/kWh

環境経営目標項目	基準年		目標(-1%)	目標(-2%)	目標(-3%)
	令和4年7月～令和5年6月 令和5年度	令和5年7月～令和6年6月 令和6年度	令和6年7月～令和7年6月 令和7年度	令和7年7月～令和8年6月 令和8年度	
電気使用量(kWh)	11,826	11,708	11,589	11,471	
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	8,042	7,962	7,881	7,801	
ガソリン使用量(L)	現場	9,509	9,414	9,319	9,224
	事務所	4,605	4,559	4,513	4,467
軽油使用量(L)	11,033	10,923	10,812	10,702	
建設混合 廃棄物排出量(kg)	現場	2,550	2,525	2,499	2,474
一般廃棄物排出量(kg)	事務所	1,388	1,374	1,360	1,346
上水使用量	135	134	132	131	

目標項目

- ★ 現場から出る廃棄物と会社ヤードにある廃棄物のコンテナを分けるようにする
- ★ ガソリン使用量の削減:エコドライブの教育・実施
- ★ 水使用量の削減・節水に努めます

取組目標の実施状況結果

取組目標	活動項目	実施状況結果		
		できた	ややできた	できなかった
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	・廃棄物の削減、廃棄物の分別をリサイクル促進を行います		○	
	・現場用と本社ヤード用のコンテナを分けるようにする			○
	・壊れた工具類は事務・担当者に修理や廃棄などの相談・報告する。			○
ガソリン使用量(L)	・同じ現場がある時は相乗りで行くようにする		○	
	・不要な荷物を積まないようにする。	○		
	・エコドライブの教育	○		
電気使用量(kWh)	・昼休み、残業時に不要な照明の消灯に努める	○		
	・エアコンは適切な温度で使用する。扇風機も併用する。	○		
グリーン購入	・資材のグリーン購入を積極的にする	○		

環境経営計画結果と次年度の改善策

二酸化炭素の排出量評価
①廃棄物の分別が十分に出来ていない。 ②壊れた工具類など現場からの廃棄物がそのままにされている
改善策
・現場の状況を見て、みんなで片付けを協力してもらうようにしたい。
ガソリン使用量の削減評価
①修理の現場移動があるため、状況を見て1人で修理に行くことがあるため相乗りは難しい
改善策
・計画をたて、なるべく相乗りで行けるようにしたい。
電気使用量の削減
①休憩時の照明の消灯は出来ている。 ②コロナ感染対策のため適度な温度で扇風機を併用している。
改善策
・引き続き継続していけるようにしたい。
グリーン購入
①現場で使用する資材はなるべく再生材や環境や人の健康に影響を与えるような物質が含まれていないものを使用する。
改善策
・引き続き継続していけるようにしたい。

まとめ (担当者)

今期、コロナウイルス感染予防の為、密で集まる事が出来ずエコアクションについて勉強会等が行う事が出来なかった為、社員への意識付けが弱くなったと思います。

今後は、私自身も含め従業員みんなで出来るだけ勉強会の場を設けゴミの分別、産業廃棄物再資源について理解できるようにしていきたいと思います。

本社ヤードに関しても、陶器など現場からでた廃棄物がいっぱい状態ですが、徐々に廃棄していくようにします。

代表者による全体評価

活動計画の実地状況	前年度と変化なし
目標設定	令和4年度を基準年にして目標を設定した
問題点の是正・予防処置の実地状況	中間報告を行い実地状況及び今後の対策を協議した
外部とのコミュニケーション・対応記録	苦情なし

今期は全体的にガソリン・軽油・産業廃棄物は目標及び前期を大幅に削減できています。

電気使用量は、目標は達成できていませんが前期よりは削減出来ています。

改修工事が今期はあまりなかった事や、長距離の現場がなかった事が削減出来た要因だと思います。

改善された点もありますが、逆に日々の忙しさからおろそかになった部分も見受けられるので次年度も個人のエコに対する意識を高める必要も多々あるので、今後は社員とエコに対する勉強会を開き意識を高めていきたいと思います。

これまでと同様に、事業活動にて生じる環境負荷を削減することで環境保全に繋がること会社自体も良い方向に向かうことを意識し、今後も全社員でエコアクション21に取り組んでいきます。

代表者による見直し・指示

環境経営方針	変更の必要性なし
環境経営目標	変更の必要性なし
環境経営計画	変更の必要性なし
実施体制	変更の必要性なし